

令和7年度 北栄町地方創生推進会議 会議録

日時 令和7年12月3日(水) 18時30分～20時00分

場所 大栄農村環境改善センター

出席者

長曽我部会長 水谷委員 小椋委員 吉川委員 秋山委員 上桙委員 吉田委員
生田委員

(欠席)

小林委員 盛山委員 山根委員 澤田委員

1. 議事概要

(1)令和6年度(期末)まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果測定

事務局より資料に基づき、令和6年度末の実績報告が行われた。

●事務局報告

農業	概ね順調だが、担い手育成が課題。
商工業	起業者数増加、ほくほくカード等の地域経済循環が順調。
観光	ふるさと館の入館者数が過去最多、全体的に前年比増。
環境	概ね達成。
子育て	こども園入所待機児童の課題あり。
教育	地域への関心度増加、不登校出現率等が目標未達。
移住定住	案内チラシ改善等により利用者・移住実績ともに順調。

●質疑応答・意見(要旨)

・耕作放棄地について

(委員)

耕作放棄地面積が増加しているが、「順調」や「遅れている」の解釈はどうなっているのか。

(事務局)

耕作放棄地が減れば順調という目標設定に対し、累積で増えているため「遅れている」という評価である。

・新規就農者育成について

(委員)

「アグリスタート研修」は具体的にどのような取り組みか。

(事務局)

個別事業の詳細はこの場では即答できないが、担当課と連携していく。

(2)令和7年度(中間)まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果測定

令和7年度の中間時点での進捗状況について報告が行われた。

●事務局報告

農業	耕作放棄地は依然増加傾向。一方、商品開発件数(道の駅ほうじょう関連)は達成済み。
商工業	商工会会員数など3項目が中間の時点で目標達成済み
観光	道の駅ほうじょうが好調で目標を大きく上回る。
環境	省エネリフォーム等が伸びており順調。
子育て	アンケート調査の手法を変更(従来の町民アンケートから、専門機関による満足度調査へ切り替え)。これにより、「町の子育て施策に満足する人の割合」については、基準値(R1:71.8%)と実績値(26.6%)に乖離が生じ、単純比較が難しい。
教育	高校生議会を1月に開催予定。不登校出現率は県の数値が未定のため 比較待ち。
移住定住	中間時点ではやや目標を下回る項目あり。

●質疑応答・意見(要旨)

・アンケート手法の変更について

(事務局)

まちづくりビジョンの進捗管理とは別に、地方創生の取り組みを進める交付金活用のため、全国比較可能な専門的な調査を導入した。調査項目や手法を変えると、経年比較や目標達成の判断ができなくなるのではないかという意見もあるかと思う。次期戦略では指標自体の見直しが必要と認識している。

・目標値の設定根拠について

(委員)

基準値 71.8%に対する目標が 80%で、今回の実績 26.6%に対する目標はどうか。

(事務局)

元の目標(80%)への上昇率(約 11.4%増)を参考に、今回の実績値に当てはめて目標を設定する考え。

・環境関連

(委員)

省エネリフォーム戸数に「R6:要見直し」とあるが、補助制度(1人1回制限)を見直した結果、令和7年度は利用が増えたという理解でよいか。

(事務局)

その通り。制度改善により実績が伸びている。

(3)第3期総合戦略(素案)について

第2期終了(令和8年3月)に伴う、第3期策定の方針について協議が行われた。

●事務局提案

方針	第3期(令和8年4月～)は、「計画期間の延長」と「最低限の時点修正」にとどめる。
理由	上位計画である「まちづくりビジョン」の改定が、令和8年度末に延期されたため。
延期の背景	立地適正化計画(グランドデザイン)の策定、山陰道・北条湯原道路の開通、公共施設再編など、町の骨格に関わる大きな変化を見極めてからビジョンを改定する必要があるため。
スケジュール	本会議で方針確認後、各課作業を経て、2月頃に案を確定する。

●質疑応答・意見(要旨)

・委員の役割と審議のあり方について

(委員)

学校のテストの点数のように、単に数値を見せられても、その施策が本当に町民のためになっているのか判断できない。目標数値の設定根拠や、その施策が必要かどうかの議論に関わりたい。ただ結果を聞くだけなら書面で良いのではないか。

(事務局)

ごもっともである。第3期については期間延長の措置となるが、本格改定を行うタイミング(令和8年度3月頃)では、目標設定の段階から委員に議論いただきたいと考えている。また、事前に資料を送付し、疑問点をやり取りするプロセスを強化したい。

・文言の修正

(委員)

資料 P2「若者や女性に選ばれる」という文言が、どの主語にかかっているか分りにくい。

(事務局)

国の「地方創生2.0」の文言を引用しているが、分かりやすい表現へ修正を検討する。

●決定事項

・第3期策定(微修正・延長)に関する最終確認の会議(2月予定)は、書面開催とする。

(4)その他・意見交換(要旨)

各委員より、現状の活動や課題について共有が行われた。

●子どもの居場所づくり

現状：空き家を活用し、駄菓子屋・居場所づくりを行っている（毎週土日、10～30人の子どもが来訪）。

課題：来年から補助金等の支援がなくなり、家賃・光熱費等の固定費（年12～18万円程度）の捻出が課題。ボランティアベースだが、継続のための資金とノウハウが欲しい。

議論：企業寄付やイベント収益等のアイデアが出たが、運営の安定化には継続的な仕組みが必要。ほくらぼやコミュニティスクールをきっかけに、子どもたちのために地域で活動する団体が出てきている。町全体で何かできていたらいいかなと思う。

●観光客の増加と経済波及

現状：観光客数が激増している（8月2.2万人、11月1.8万人）。

課題：来てくれた人をいかに町内の消費（商工会・店舗）に繋げるかが課題。周遊の仕組みづくりが必要。

●計画期間と変化のスピード

商工会でも5年計画を作るが、5年経つと「SDGs」から「DX」へトレンドが変わるなど、変化が激しい。5年固定のKPI設定にはジレンマがある。常に見直しが必要ではないか。

●学生の卒論調査への対応

現状：「コナン」「アニメツーリズム」等をテーマにした卒論取材の依頼が多く、町職員の負担になっている。商工会、観光協会へも依頼がある。

対応：町は、連携協定がある大学や、町に成果還元があるものに限定して受け入れる方針とした。

提案：有料セミナー化してビジネスチャンスにする、あるいは時期を限定して一斉に受け入れる等のアイデアが出された。

2. 今後の予定・事務連絡

・次回会議

2月頃に予定していた会議は書面開催に変更。第3期総合戦略（期間延長版）の最終確認を行う。

・委員任期

令和8年3月末まで。各所属への推薦依頼、次期公募を予定している。